

## 沖縄平和行進参加報告書

全港湾東北地方青年婦人部

塩釜支部塩釜分会 矢萩怜音

5月11日から15日までの5日間、初めて沖縄平和行進に参加しました。私は、沖縄の戦争への思いや体験などには全く知らずに、沖縄へと行きました。

初日は、三単産結団式と平和学習会が行われました。全港湾、全日建、全国一般の方々と初めて顔を合わせ、皆、強い気持ちでこの決断式に参加していることが分かりました。その後、全港湾 中央執行委員長 鈴木誠一さんが労働運動と平和運動について話してくれました。日本の古い歴史や現在までの経緯を遡りながら話して頂きました。その中でも、労働者が団結して平等になるための社会運動という説明があり、労働者が資本家階級に反対したと言う話を聞き「労働者が一致団結して不平等な世の中にならないようにした」ということで、自分たちも団結して、安心して生活できる社会を作り続けて行く必要があると思いました。

2日目は、ひめゆり資料館～旧海軍豪の視察をしました。ひめゆり資料館ではひめゆりの生徒達の無念さを感じました。「まさに大死に」それでも、生徒達は日本が神の国だと信じて亡くなった少女達、そして、戦後を生き抜いてきた生徒達の思いがこの場所を支えているのだと思います。館内の展示では、少女達の日常が戦時下になって

どのように変わって行くかを追体験できるような内容でした。「戦争は悲惨だね」だけではなく「絶対にやってはいけない」という事を世界共通認識になるように世界中でつながって行く必要があると思います。旧海軍豪では、当時のまま残っていてどこに何があった、何が起きたのか、を想像しながら視察することができました。中を歩くだけで、息が詰まるのに、ここで生活をしていたなんて本当に考えられませんでした。

3日目は平和行進に参加しました。糸満市役所～ひめゆりの塔約10km行進しました。右翼の妨害がありながらも全国から集まった仲間達でシュプレヒコールをあげながら堂々と歩くことができました。途中で、自分がマイクを握りシュプレヒコールをあげることができました。東北らしい行進ができたかは分かりませんが、私自身は声を出し続け島中の人に聞いてもらえることができたと思います。「命どう宝」一生忘れてはいけない、貴重な体験ができました。

4日目は嘉数高大公園に行きました。そこからみる普天間基地はものすごく大きく、こんなところでオスプレイなどを飛ばしたら騒音が本当にうるさいのだろう、と思いました。

沖縄平和行進では、様々な場所や景色を視察できました。沖縄の歴史や問題を、目で見て肌で感じることができ、これを知らない見たことがない人達はたくさんいると思います。今回、経験したことを私たちがそれを伝えていく必要があると思いまし

た。私が沖縄の現状を見たところで、戦争がなくなることはないと思います。ですが、これは学ぶチャンスだと私は思いました。「戦争は2度と繰り返してはいけない本当に貴重な4泊5日になりました。